

水泳授業の外部化等について

1. 現状

- ・豊島区では全ての小・中学校にプールを設けている。
- ・各校とも6月下旬～9月上旬に水泳授業を実施しているが、使用日数は小学校で30～40日程度、中学校で10～20日程度である。
- ・水泳指導及びプール水質管理は各校教員が担っている。

2. 現状の学校プール運営等の課題

- ・水泳授業実施による教員の負担が大きい。1回につき、3名以上の教員が指導にあたる必要がある。
- ・水泳専門の教員は原則としていないため、指導の質の確保が難しい。
- ・塩素の投入などプール設備管理に不慣れな教員もおり、学校負担が大きい。
- ・プール設備の不具合が頻繁に発生している。ろ過機などを中心に毎年修繕を繰り返している。
- ・プールは豊成小学校・池袋本町小中連携校・池袋第一小学校以外は屋外であり、温水プールはない。雨天・気温など天候に左右されるため、カリキュラム編成が安定しない。子どもや教員の熱中症も懸念される。
- ・更衣スペースの不足、プール授業に伴う騒音のトラブル、周辺建物からの視線などについても課題である。
- ・毎年水道代や修繕などの維持管理で1校当たり約200万円のコストが発生し、年間1校程度実施しているプールの全面改修には約1.2億円のコストが発生する。

3. 他自治体の動向

- ・第4ブロックでは、板橋区を除き、水泳授業の外部化の取り組みは実施されていない。
- ・他自治体では、水泳授業の質の向上、プール管理にかかる教員負担の軽減、天候に左右されないカリキュラム編成などを目的として、外部の温水プールを利用のうえ、専門の指導員がついた水泳授業（外部化）が実施されている。
- ・葛飾区では、令和4年度から小学校の水泳授業の外部化を開始している。令和4年度は12校が外部プールを利用している。板橋区では、赤塚小学校が隣地の赤塚体育館のプールを利用した外部化を実施している。

4. 豊島区における検討状況

- ・令和5年1月から検討会議を設置し、小・中学校長も参加して水泳授業の外部化について検討している。令和5年6月までに3回検討会議を開催している。
- ・令和5年2月には区内各校にアンケート調査を実施し、現場の意見を確認した。アンケート調査の結果、「2」に記載した諸課題が明らかになるとともに、水泳授業外部化の条件として「専門指導員の配置」が重要であることが判明した。

5. 今後の方向性(案)

- ・南池袋小学校について、児童数増加に伴う別棟整備に伴って既存プール設備を解体するため、令和6年度から雑司が谷体育館を利用して水泳授業の外部化を実施する。(詳細は「7」のとおり)
- ・南池袋小学校の他、2校程度の小学校で、令和6年度以降に水泳授業の外部化をモデル事業として実施し、効果検証や課題解決の手法確認などを行う。条件整理が可能な学校については、モデル実施校に追加することも検討する。
- ・南池袋小学校での実績やモデル事業を踏まえ、令和7年度以降、外部プールを利用する小学校を増やしていく。本取り組みは小学校を優先とし、中学校については、小学校の実施状況や他自治体の状況などを踏まえ、改めて検討する
- ・拠点校のプール施設を周辺校とシェアする「共用化」についても検討しているが、拠点校の教員の負担が増えることが予想される。また、夏のプール期間の使用頻度が高く、児童数が多い学校は他校に時間を割ける余裕がない。さらに、移動先の学校における児童の待機場所がないこと、更衣室が十分に確保できないことなどから、現状においては、池袋本町小中連携校のプールなどを除き、共用化の実施は困難である。学校へのアンケート調査においても実施困難との意見が多かった。
- ・なお、今後の学校改築で温水プールを整備し、拠点校とすることについては、プール管理の手法やコスト等も含め、継続的に検討する必要がある。

6. 水泳授業の外部化に関する今後のスケジュール

令和5年7月	中間まとめについて議会報告
令和5年8月	水泳授業の外部化に関する方針とりまとめ
令和5年9月～	予算要求、各学校やプール施設との協議・調整
令和6年度～	2校程度でのモデル実施開始 <u>南池袋小学校での水泳授業については令和6年度以降、 雑司が谷体育館のプールを利用</u>

7. 南池袋小学校のプール解体に伴う雑司が谷体育館の利用

- ・児童数増加による普通教室の需要に対応するため、既存プール棟を解体し、敷地内別棟をリース方式により整備する。
- ・プールは新たに整備せず、水泳授業は別棟整備工事に着手する令和6年度から雑司が谷体育館の温水プール（25m 5レーン）を利用して、水泳授業の外部化を実施する。
- ・移動方法については学校と協議のうえ正式決定するが、学校近隣は道幅が狭く大型バスが発着できる場所がないこと、施設間の道路距離が600m程度であることも踏まえ、徒歩移動を想定している。

